



# ふるさと笠松の「ちょっといい話」第110号



## 第8回「道徳のまち笠松のつどい」を開催

2月28日の日曜日に笠松中央公民館で第8回目の「道徳のまち笠松のつどい」を開催しました。3階の大ホールには大勢の町内外の方が来場され会場は満席になりました。

つどいは2部構成で、第1部では「ボランティア・スピリット賞受賞」を受賞した笠松中学校生徒会と岐阜工業高等学校化学研究部に活動の様子を発表していただきました。笠松中学校は2年生の生徒会執行部の生徒が頑張っ発表してくれました。また、岐阜工業高等学校の化学研究部の生徒が、自分たちで作った光るエコ消しゴムを用いて活動の様子を発表してくれました。

さらに、第2回「かさまついいね写真展」の6名の入賞者の表彰も行いました。(詳細はちょっといい話109号を参照願います。)

第2部では「人生を成功に導く5つの実践」という演題で、CoCo 壱番屋の創業者 宗次徳二氏に90分間にわたり講演をいただきました。講演はユーモアを交えて楽しく話されたので90分はあっという間でした。5つの実践とは「早起き・掃除・花を育てる(奉仕)クラシック音楽を聴く・寄付をする」ことです。見習いたいものですね。



↑大ホール一杯の参加者の皆さん



↑宗次氏の話術に聞きほれる皆さん



↑岐工生が光る消しゴムでハートを作りました。



↑町の行事に多くの笠中生徒が参加していることを報告